

かまにし

第82号

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

わがまらの顔



「夢」の実現へ、陸上競技選手

きたむら ゆめ
北村 夢 さん

北村夢選手は、道塚小学校出身で、株式会社エディオンに所属している陸上競技選手です。ふだんは母校の日本体育大学を拠点に、学生と一緒に練習に励まれています。

陸上を始めたきっかけは、小学校6年生の時、担任の先生から「足が速いね」と褒められたことでした。卒業後、矢口中学校で陸上部監督との出会いがあり、陸上部に入部し本格的に陸上を始めました。最初は、走り幅跳び、100m、200mを行っていましたが、なかなか結果が生まれませんでした。色々試行錯誤している中で、800mで結果が出て、自分に適性があると感じ、800mの選手になったそうです。



競技中の北村選手

800mは、陸上トラックを二周します。スピードと持久力が必要とされ、陸上競技の中でも最も厳しい種目の一つといわれています。また「陸上の格闘技」ともよばれ、転倒や接触などのアクシデントが起きやすい激しいレース展開が繰り返られる過酷な種目でもあります。

2017年日本インカレ(日本学生陸上競技対抗選手権大会)800mで、日本歴代二位となる2分00秒92の記録を出しました。2017年・2018年に日本陸上競技選手権大会で優勝、2018年度のアジア競技大会では四位に入賞、また、大学時代は無敗のシーズンがあったなど輝かしい実績を残しています。

一時期、故障により、結果が出ないこともありましたが、2021年5月静岡国際陸上競技大会では、東京五輪代表の選手を破って優勝し、続く木南道孝記念陸上競技大会、デンカアスレチックスチヤレンジカップでも優勝しました。

北村選手は、「怪我をした時は、自分の体が思うように動かないのが苦しい。でも、試合で勝った瞬間は、競技をしていなかったら味わえない何事にも代えられない喜び」と話されていました。

また、試合直前は、スタートラインに立つまでは自信がなく緊張しっぱなしだが、スタートラインに立つとスイッチが入るとのこと。スタート前は、大好きなONEROCK ROCK(ワンオクロック)の曲を聴いてリラックスし、試合に挑むとのことでした。

競技場を離れた、ふだんの生活での楽しみは、「ネイルをすること」と笑顔で話されていた北村選手ですが、座右の銘をお伺いしたところ、「全力で取り組む以外に近道はない」と語られ、その言葉からは今まで積み上げてきた並々ならぬ努力が伝わってくるようでした。

今後の夢は、「日本人女性として初めての一分台を出すこと！」と力強く語っていた北村選手。ご両親につけていただいた素敵な名前「夢」の実現に向けて頑張ってくださいと思います。北村選手の「夢」の実現をみんなで応援していきましょう。(取材 横山・伴野委員)

祝 開校一三〇周年

わたしたちの矢口小学校



令和三年一月、矢口小学校の開校一三〇周年記念式典が挙行されました。

大田区小学校の歴史

日本で最初に学校制度を定めた教育法令『学制』交付は明治五年八月三日。翌六年に開校した学校が日本一古い学校です。大森第一小学校・入新井第一小学校・六郷小学校は明治八年、矢口小学校・池上小学校は明治十一年、蒲田小学校は明治十二年の開校です。

明治十一年に開校

学制では小学校を作って子供たちに教育を受けさせることが国民の義務とされました。明治十一年に矢口村・今泉村・安方村・古市場村・原村・下丸子村・小林村・蓮沼村の人々がお金を出し合い、薫泉小学校ができました。これが矢口小学校の始まりです。

約一か月後に池上小学校が開校します。矢口小学校は少しだけ先に生まれたこととなります。

ここまでの記事は大田区教育委員会の「大田区小中学校HP」や「矢口小学校他各小学校のHP」を参考にさせていただきました。ここからは昭和三十三年三月に矢口小学校を卒業された原哲夫さんに伺います。



上は校舎の横断幕、下は130周年スクールキャラクター「やぐらん」(矢口小学校のHPから)



大正六年に制定された矢口小学校の校章



上は120周年キャラクター「魂太郎(たまたらう)」(矢口小学校のHPから)

エピソード① 校歌

在学している当時は何気なく歌っていました。その後、子供が小学校に通学するようになったり、地域活動で小学校に行ったりして、講堂に掲示されている校歌を見るたびに思い出します。作詞の藤浦洗さんは「別れのブルース」「悲しき口笛」などを作詞しNHKテレビ「私の秘密」レギュラー回答者、作曲の佐々木すぐるさんは「月の砂漠」「お山の杉の子」など二千曲を作曲した方で、なんとなく自慢でした。歌詞もメロディーも歌いやすかったです。小学校の校歌はどこも同じかもしれませんが、歌詞の「多摩の川べり」や「矢口小学校」を他の言葉に置き替えればどの小学校でも通用します。卒業後六七年たちますが今でも歌えるやさしく普遍的な歌詞とメロディーと思いが入っています。(矢口小のHPで視聴できます)

エピソード② 給食

在学中に学校給食が始まりました。(学校給食法が昭和二十九年に公布・施行されたためと思われる)ミルクは脱脂粉乳でまぜて残したことで、栄養補給のためか肝油が出たこと、コッパンが出たこと、鯨の竜田揚げがおいしかったことなどを思い出します。

(学校給食については思い出すと次から次へと記憶がよみかえりまします。学校生活の中で給食の占める部分は意外に大きかったのだなと今になって思います)

エピソード③ 遊び

学校の休み時間も校庭で遊んでいたと思いますが、記憶はあまりありません。生徒数が多くて混雑していません。生徒数が増え、昭和三十三年には生徒数が約一九〇〇人となり、校舎増築では対応できず、昭和三十一年に多摩川小学校が誕生します)遊びは帰宅後に近所の年の近い子供たちと広場や河川敷に出かけました。メンコ・ビー玉・ベーゴマ・缶蹴り・三角ベイス・かけっこなど。今で言ういじめがあったかもしれませんが、親同士も近所付き合いがあり、仲裁してくれたように思います。(そうでした。近所には誰か必ず子供たちを気にしてくれている人がいました。懐かしいです)



上は矢口小学校敷地内の田んぼ、下は現在の校舎
(矢口小学校のHPから)



エピソード④ 郵便貯金

学校に郵便局の人が来て、通帳を作りました。授業の一環であったかと思いますが、今だと郵便局だけ優遇している問題になるでしょうが、当時はお金を大切にすること、貯蓄することの大切さを教育されたのだと思います。この経験は、その後、お金を無駄にしないで大切にしようになり良い教育だったと思います。(たしか「こども通帳」という名前だったように思いますが、そのような授業があった記憶がありません。お金を大切にしなければいけないという教育は今も必要だと思えます)

エピソード⑤ ひるのいこい

土曜日は午前中で授業が終わり正午過ぎに校門から出ると校門の前の文房具屋さんから「ひるのいこい」のテーマ曲が流れます。古関裕而さんが作曲したことは当時知りませんでしたが良い気持ちで早帰りができ気分良く下校したことを覚えています。(「ひるのいこい」は現在も放送中の長寿番組です。NHKラジオ正午ニュース後に聞かえてくる郷愁を帯びた古関裕而メロデー。昭和二七年に放送を開始した「ひるのいこい」テーマ曲です。NHKのHPから) ここからは昭和四二年三月に卒



上は矢口の渡船を再現した矢口魂心丸、下は130周年記念(矢口小学校のHPから)

業された岡和雄さんに伺います。
エピソード⑥ オリンピック
昭和三九年の東京オリンピックで来日された選手の皆さんのお土産にするため習字を書きました。誰のお土産になったのか知りませんが良い経験でした。
エピソード⑦ ラジオ体操
NHKラジオ体操は全国の会場から生中継されていましたが、矢口小学校が中継会場となったことを覚えています。
エピソード⑧ 大平透さん
日本のテレビ史上初の日本語吹替(スパーマン)声優の大平透さんが通われたと聞きました。



おわりに
今回、蒲田西地区で一番の歴史を誇る矢口小学校を取り上げるにあたり、感想を一言述べさせていただきます。
矢口小学校ホームページの充実度に、まずびっくりしました。歴史だけでなく現在の教職員や生徒さんが本当に頑張っているということがよくわかりました。そして地域の皆様が矢口小学校を愛していることも強く感じました。お二人よりも少し後輩ですが矢口東小学校出身の私(大良)も学ぶところの多い取材でした。
(取材 原・岡・大良委員)

ご存知ですか？

「カムカム新蒲田」の誕生！

五月五日（木・祝）、快晴。新蒲田公園の新緑がまぶしかった。

この日午前、新蒲田一丁目複合施設「カムカム新蒲田」の開設式が挙行された。

カムカムの思い出

終戦直後の英語ブームのなか、NHKのラジオ番組「英語会話」は童謡「証城寺の狸囃子」の軽快なメロディによって「Come, Come, Everybody……」が始まった。番組は通称「カムカム英語」と呼ばれ、私（昭和九年生まれ）にとつて、このカタカナ四文字は忘れられない言葉になっていった。

また、直近の朝ドラ、好評だった「カムカムエヴリバディ」は記憶に新しい。

新複合施設の建設

二〇一八年三月閉館の旧大田区民センター跡地に、新しい複合施設が計画されて着工。その竣工を

控えた昨年一二月愛称を公募。一七三件もの応募があったという。

三月、審査の結果、次のように決定が発表された。

カムカム新蒲田

—— KAM KAM SHINKAMATA ——

衝撃的だった。公共施設のネーミングとしては想定外！この愛称に、常套的な一応募者でもあった私は、文句なしに脱帽した。

……「KAMATA(蒲田)」の「KAM」に英語の「COME(おいで)」を重ね合わせた、両方の響きを兼ねている。前記NHKとは異質の「カムカム」の誕生となった。イメージ豊かで呼称もしやすい。

この施設愛称命名者として、五十嵐宏子・松尾史枝・松本明の三氏が開設式で紹介され、表彰を受けた。

全世代向けコンセプト

新生のカムカム新蒲田では、子どもの拠点、地域力の拠点、そして

て高齢者の拠点としてのコンセプトにより、別掲MAPのように、乳幼児から高齢者まで対象の複合施設機能が整備された。

地上四階、地下二階。例えば地下二階の多目的室(大)の場合、座席を配置する・しないの利用が可能であり、最大四五〇名まで収容できるそうだ。また、二階の集会室1と2、3と4は、それぞれ一体でも使用できる。

かつて「カムカム英語」が一世を風靡したように、「カムカム新蒲田」が、大いに活況を呈するところを祈つてやまない。

この新施設に隣接して、北に地元自治会が運営管理する新蒲田公園、南にJR大田運輸区(京浜東北線の車両基地)が広がる。

向日葵を育て持ち寄る花壇かな
戻り来し車両の揃ひ月涼し

浦城悠紀(洋子)

(取材 山口委員)

就任ごあいさつ

蒲田西特別出張所長

小林 真也

本年4月1日付けで出張所長に就任いたしました小林真也と申します。

今回、蒲田西特別出張所に勤務し、たくさんの方々と出会えることを大変うれしく思います。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会・町会など、地域で活動する皆様の取り組みについても制限が設けられ、各種イベントも中止せざるを得ない状況が続いております。

新年度に入り、一日も早く、活気あふれる蒲田西地区が戻るよう、地域の皆様とともに考え、ともに行動して、少しでもお力になれればと考えております。

なにとぞよろしく願います。

4 F▼ 中高生ひろば蒲田 談話室、講座室、事務室
3 F▼ 地域包括支援センター新蒲田／シニアステーション新蒲田 事務室、相談室、活動室1・2、ロビー
2 F▼ 新蒲田区民活動施設 集会室1・2・3・4、調理講習室、美術室、音楽スタジオ1・2 新蒲田保育園 3歳児室・4歳児室・5歳児室、遊戯室
1F▼ 新蒲田保育園／子育てひろば新蒲田 0歳児室・1歳児室・2歳児室／子育て支援室、事務室、相談室
B1・2F▼ 新蒲田区民活動施設 多目的室(大)・(小)、控室

FLOOR MAP

蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,247人
	女	29,932人
	計	62,179人
世帯	36,462世帯	

令和4年 5月1日現在